

保渡田薬師塚古墳(高崎市)

前方が薬師塚古墳/5世紀末～6世紀初頭築造の三段築成の前方後円墳/西光寺の寺域となっており、赤い屋根のお堂の下が後円部でその左手が前方部/保渡田古墳群で最後に造られたもの/南東側から見たところ



ここが浄土宗西光寺参道



本堂



これは旧本堂の鬼瓦か



前方の階段で後円部墳頂へ登ろう/手前に説明坂等が立っている





国指定史跡



保渡田薬師塚古墳

指定年月日 昭和六〇年九月三日

国指定重要文化財

上野国保渡田薬師塚古墳出土品

指定年月日 昭和一四年九月八日

この古墳は前方後円墳でかなり変形をうけているが、発掘調査の結果では三段に築かれ、斜面には石垣をふき平坦面には円筒埴輪を巡らすことが判明した。全長一〇五m、高さ六mで、周囲は二重に堀を巡らし、堀を含めた全長は約一六五mを測る。保渡田古墳群のなかで最後に造られ、五世紀末〜六世紀初頭の年代が推定される。後円部頂上には凝灰岩をくりぬいた舟形石棺があり、出土品は江戸時代にこの中から発見された伝承がある。出土品には小型の国産鏡・装身具の各種玉類・儀式の際に馬を飾る馬具類があり、中でも馬具は二例を除き铸造品で、国内に類例のない特殊なものといえる。

平成一五年三月三〇日

群馬町教育委員会

梵字(種子)の下に「百萬遍供養塔」と記されている



後円部墳頂は削られ、赤い屋根のお堂が建っている



右手に覆屋がある



中には舟形石棺が収められている



側面から見たところ/側面に2対、小口側に1対の計6個の縄掛突起がある



石棺の中を覗いたところ



小口側を見たところ/縄掛突起が見える



凝灰岩を割り抜いたもの



左手の前方部を見てみよう



これが後円部から前方部方向を見たところ



途中がくびれ部でその向こうが前方部



くびれ部から前方部を見たところ



後円部のお堂右手を見たところ



同じく裏手を見たところ



さて、これは墳丘を下りて東側から後円部を見たところ/墳頂に赤い屋根のお堂が見える



西光寺の裏手で後円部から前方部方向を見たところ/道路が墳丘に沿ってカーブしている



同じく前方部から後円部方向を見たところ



これが西側から前方部を見たところ



左手にはさまざまな石造物が立っている









これは南西側から見たところで、左手が前方部、右手が後円部



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/gunmamati_yakusi/

<http://kofunnomori.web.fc2.com/gunma/gunma/yakusizuka.htm>

<http://www13.atpages.jp/ootama/page022.html>

